



コミュニケーション(SNS)の量的分析

2023年4月21日

正田ヴェラパオラ

計算社会科学研究センター

Center for Computational Social Science

本日の内容

□ 私について

□ コミュニケーション(SNS)の量的分析

❖ 神戸市におけるSNSを用いた『妊娠・出産・子育て支援』の心理的欲求に関する研究

私について

- 1994 (29歳)
- 2021 神戸大学 計算社会科学研究センター
- フィリピン出身 (マニラ)
- 博士 (人間情報学) 筑波大学
- コミュニケーション(SNS)の量的分析

コミュニケーション(SNS)の量的分析

- 神戸市におけるSNSを用いた『妊娠・出産・子育て支援』の心理的欲求に関する研究

2022年度大学発アーバンイノベーション神戸研究助成金
(2年間)

なぜ、このテーマ？

- 私は子供が1人います。(1歳1ヶ月)

神戸市におけるSNSを用いた『妊娠・出産・子育て支援』の心理的欲求に関する研究

神戸市におけるSNS投稿を活用しながら、市民の「妊娠・出産・子育て支援」における心理的欲求を明らかにする。

具体的

- 神戸市のSNS投稿を収集し、自己実現理論の枠組みで提唱された5段階説に基づき抽出した「妊娠・出産・子育て支援」における心理的欲求コーパスを作成することを目的とし、国内利用者数の多いSNSの一つであるTwitterを対象とする。

Why Twitter?

- 個人の行動や感情状態を理解するための豊富な情報源であると考えられている。



Photo: <https://twitter.com/>



Photo: <https://twdesk.com/>

神戸市におけるSNSを用いた『妊娠・出産・子育て支援』の心理的欲求に関する研究

目的

- アフェクトウェアシティ*に関する新たな知見を提供し、人間の基本的欲求に関する個人の経験を分析する。
- 神戸市民を取り巻く社会的文脈をよりよく理解するためにも利用できる。

* 市民の情緒的な状態を理解することで、市の意思決定プロセスを人々にとって本当に重要なことと一致させることができる[1]。



アフェクトアウェアシティとは？

スマートシティからアフェクティブシティ



アフェクトアウェアシティでは市民の気分や感情を認識・分析し、それらの知識を活用する。つまり、市民は「ここに住むのは素晴らしい」から、交通渋滞や公共交通機関の遅れのためにストレスを感じるまで、様々な感情がある。街並みは、ストレス、恐怖、疎外感、親密感、安心感を呼び起こすのだろうかといったような疑問に答える鍵になる。情報は、アンケート、ソーシャルメディア（ソフトセンサー）、センサー、ウェアラブルを埋め込んだものなどから得ることができる。

神戸市におけるSNSを用いた『妊娠・出産・子育て支援』の心理的欲求に関する研究

研究成果が与える効果

- コーパスは、個人の欲求を検出し、その満足度を測定するための自動検出システムや述語モデルの開発に利用することが可能である。
- 個人の感情状態をリアルタイムに把握することは、アフェクトアウェアシティの目標である。様々な感情状態を認識することは、神戸市民の生活の質や経験を向上させるために有効である。

神戸市におけるSNSを用いた『妊娠・出産・子育て支援』の心理的欲求に関する研究

＊ ＊ 現在 ＊ ＊

予備調査

予備調査として、文献調査を実施しながら SNS(ツイッター) で使われている「妊娠・出産・子育て支援」に関するハッシュタグ、キーワードを確認する。

予備調査の分析及び本調査

予備調査の状況を反映しながら、ツイート収集を行う。ツイートを自己実現理論の枠組みで提唱された5段階説に基づき抽出し、心理的欲求コーパスを作成する。

調査内容の分析・発表・プログラムの構築・体制の構築

調査結果を量的分析として記述統計を求め、質的分析には内容分析の手法で分析し査読付きの学術雑誌にて発表する。調査結果を反映したデータベースの構築を行う。

ご清聴ありがとうございました